

船橋市住生活基本計画・高齢者居住安定確保計画

～令和 7 年度取組状況報告～

令和 8 年 8 月

船橋市

はじめに

船橋市住生活基本計画・高齢者居住安定確保計画は、「人にやさしく安全に安心して住み続けられるまち」の実現を基本理念とし、令和３年度から令和１２年度までの計画として策定しました。

本計画期間において、基本目標に沿って各施策事業を進めており、期間中、毎年度、各事業の施策実績等を定性的・定量的に把握・評価し、５年目及び１０年目の見直しに生かすものです。

取組に対する評価基準及び結果

基本目標毎の関連する主な市の事業等について、令和７年度における具体的な取組状況の進捗を確認し評価を行いました。

評価	説明	事業数
A	計画通り実施できた	１７
B	計画通りとはいえないが、一定の成果はあった	９
C	計画の進捗状況について、改善が必要である	—
—	評価対象外	—

全２６事業（再掲除く）のうち、「計画通り実施できた（A）」が計１７事業、「計画通りとはいえないが、一定の成果はあった（B）」が計９事業、「計画の進捗状況について、改善が必要である（C）」及び「評価対象外（—）」については該当ありませんでした。

住生活基本計画

基本目標ごとの具体的な取組状況

基本目標 1 住宅セーフティネットの充実

施策の方向 1－1

住宅セーフティネットの充実

【参考指標】

事業名	目指す方向性
居住支援協議会による居住の支援 （「住まいるサポート船橋」による賃貸物件成約件数）	

「住まいるサポート船橋」による賃貸物件成約件数について、令和 6 年度の 18 件から令和 7 年度は 8 件に減少しました。

【関連する主な市の事業等】

事業名	実績・取組状況等	評価
高齢者住み替え支援事業	助成件数 7 件 申請件数が減少したが、今後も一定の需要が見込まれるので、引き続き、広報ふなばしやホームページ等により周知を行っていく。	B
親世帯・子育て世帯近居同居支援事業	助成件数 26 件 申請件数が減少したが、今後も一定の需要が見込まれるので、引き続き、広報ふなばしやホームページ等により周知を行っていく。	B
家賃低廉化事業	登録件数 34 戸（累計） 入居件数 4 件 登録件数は減少したが、問い合わせ件数は横ばいを保っている。引き続き周知活動を実施していく。	A
家賃債務保証支援事業	助成件数 12 件 広報ふなばし・ホームページ等により普及・啓発を実施した。引き続き周知活動を実施していく。	A
市営住宅の供給	供給戸数 1,498 戸（累計） 令和 7 年度は 15 戸の新規供給行った。引き続き、供給戸数の確保を図っていく。	A
市営住宅優先入居	属性別優先入居募集戸数 「障害」区分 8 戸	A

	「ひとり親」区分 7 戸 「老人」区分 1 7 戸	
罹災者応急市 営住宅	火災で住宅を失った 9 世帯に対し、一時的な住宅として市営住宅 を提供した。	A

基本目標ごとの具体的な取組状況

基本目標 2 住宅ストックの適正な管理と質の向上

施策の方向 2-1

住宅ストックの質の向上

【参考指標】

事業名	目指す方向性
住宅バリアフリー・断熱改修支援事業（旧 住宅バリアフリー化等支援事業） （助成件数）	

昨年度より申請件数が増加しており、周知が進んでいる状況です。

【関連する主な市の事業等】

事業名	実績・取組状況等	評価
住宅バリアフリー・断熱改修支援事業 （旧 住宅バリアフリー化等支援事業）	助成件数 185件 順調に申請件数と相談件数が増加した。引き続き周知活動を実施していく。	A
住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 （旧 住宅用太陽光発電システム・省エネルギー設備設置費補助事業）	補助金額 32,191,000 円 （太陽光発電設備 6,000,000 円、省エネ設備：26,191,000 円） ・太陽光発電設備は 107 件、554.8 kW ・エネファームは 43 件 ・定置用リチウムイオン蓄電システムは 255 件 ・電気自動車（太陽光発電設備及び V2H 充放電設備併設）は 5 件 ・電気自動車（太陽光発電設備のみ併設）は 14 件 ・プラグインハイブリッド自動車（太陽光発電設備及び V2H 充放電設備併設）は 4 件 ・プラグインハイブリッド自動車（太陽光発電設備のみ併設）は 7 件 ・V2H 充放電設備は 8 件 ・集合住宅用充電設備は 0 件	A

雨水浸透ます等設置補助事業	助成件数 7 件 イベントやパンフレット配布により雨水浸透ます等設置補助事業の周知を行い、設置実績を年度毎に集計し情報共有している。	B
住まいづくり相談の実施	相談回数 38 回 件数 75 件 耐震やリフォーム等の住宅の困りごとに対し、予約制で相談会を実施した。	A
木造住宅の耐震診断・耐震改修助成事業	耐震診断 55 件 耐震改修 48 件 船橋市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、住宅の耐震化に係る支援、普及啓発等を実施した。	A
危険コンクリートブロック塀等撤去助成事業	助成件数 13 件 助成金額を増額したことを広報ふなばし、ホームページ等により発信した。	B
がけ地対策	補助額・補助件数 0 件 建築部展及びホームページ、ふなっふ等を通じて、普及・啓発を推進した。	B
急傾斜地崩壊対策	工事 1 件 急傾斜地崩壊危険区域に指定された夏見 6 丁目において崩壊防止工事（1 期目工事）を行った。	B
マンションの防災倉庫設置の促進	防災倉庫設置数 4 件 船橋市宅地開発事業施設整備基準を設けており、意見書を提出している。	A

基本目標ごとの具体的な取組状況

基本目標 2 住宅ストックの適正な管理と質の向上

施策の方向 2-2

分譲マンションの適正な管理

【参考指標】

事業名	目指す方向性
分譲マンション共用部分バリアフリー化等支援事業 (助成件数)	

令和7年度の助成件数は4件で、令和5年度の7件から減少しました。

【関連する主な市の事業等】

事業名	実績・取組状況等	評価
マンション管理適正化の推進	マンションが適正に管理されていないことによる様々な課題や、適正な管理のために活用できる支援等について、市窓口・広報紙やホームページ等を通じて、普及・啓発を促進した	B
マンションセミナーや相談会の開催	相談会開催回数 9回、23件 セミナー開催回数 2回、76人 マンションセミナーを2回実施し、無料相談を予定通り実施した。	A
マンション管理士等派遣事業	派遣件数 3件 マンション管理組合を対象にマンション管理士を派遣し、マンションに係る管理・運営に関することや修繕計画等についての助言を行った。	A
マンション管理組合交流会	開催回数 2回、76人 マンションセミナーと併せて実施した。	A
分譲マンション共用部分バリアフリー化等支援事業	助成件数 4件 分譲マンション共用部分のバリアフリー化等について、補助を行い、バリアフリー化の促進を図った。	B

マンションの耐震診断費用の助成	助成件数 0 件 広報ふなばし、ホームページ等により普及・啓発を実施した。	B
自主防災組織の結成及び活動の促進事業	助成件数 12 件 年度当初に、自主防災組織のしおり等の結成促進資料を市内マンション管理組合に郵送し、結成促進を行っている。	A

基本目標ごとの具体的な取組状況

基本目標 2 住宅ストックの適正な管理と質の向上

施策の方向 2－3

空き家の管理と空き家防止対策

【参考指標】

事業名	目指す方向性
管理不全の空家等に関する対策 (所有者等に対する助言・情報提供等の実施件数)	

近隣住民等から寄せられた情報を基に、所有者等に対する助言・情報提供等を実施した件数は513件となっており、昨年度より増加しています。

【関連する主な市の事業等】

事業名	実績・取組状況等	評価
管理不全の空家等に関する対策	相談受付件数 620件 助言・情報提供件数 513件 近隣住民や町会等から管理不全の空家への相談を受け、所有者等に適切な管理を促している。	A
「マイホーム借上げ制度」等の周知	説明会開催回数 1回、40人 居住支援協議会が主催する住まいの講演会の中で説明会を実施した。	A
セーフティネット住宅の登録の促進	登録件数 359棟（累計） ホームページ等により住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅への登録を促進している。	A

高齢者居住安定確保計画

基本目標ごとの具体的な取組状況

基本目標 3 高齢者の多様な住まい方の充実
 施策の方向 3－1
 住宅の質の向上

【関連する主な市の事業等】

事業名	実績・取組状況等	評価
(再掲) 住宅バリアフリー・断熱改修支援事業 (旧 住宅バリアフリー化等支援事業)	助成件数 185件 順調に申請件数と相談件数が増加した。引き続き周知活動を実施していく。	A
(再掲) 分譲マンション共用部分バリアフリー化等支援事業	助成件数 4件 分譲マンション共用部分のバリアフリー化等について、補助を行い、バリアフリー化の促進を図った。	B

基本目標ごとの具体的な取組状況

基本目標 3 高齢者の多様な住まい方の充実
 施策の方向 3-2
 多様な住まいの確保

【関連する主な市の事業等】

事業名	実績・取組状況等	評価
(再掲) 家賃低廉化支援事業	登録件数 34戸（累計） 入居件数 4件 登録件数は減少したが、問い合わせ件数は横ばいを保っている。 引き続き周知活動を実施していく。	A
(再掲) 市営住宅優先入居	属性別優先入居募集戸数 「障害」区分8戸 「ひとり親」区分7戸 「老人」区分17戸	A

基本目標ごとの具体的な取組状況

基本目標 3 高齢者の多様な住まい方の充実

施策の方向 3－3

居住支援の充実

【関連する主な市の事業等】

事業名	実績・取組状況等	評価
(再掲) 高齢者住み替え支援事業	助成件数 7 件 申請件数が減少したが、今後も一定の需要が見込まれるので、引き続き、広報ふなばしやホームページ等により周知を行っていく。	B
(再掲) 親世帯・子育て世帯近居同居支援事業	助成件数 26 件 申請件数が減少したが、今後も一定の需要が見込まれるので、引き続き、広報ふなばしやホームページ等により周知を行っていく。	B